

57—1・2次隊

# 協力隊派遣受入希望調査表

昭和56年10月

NO. 1

農 林 水 産 部 門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/  
333.8  
SE  
57-1



57年度第1・2次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

No. 1

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
101 食 用 作 物	1	ザンビア	有	1	142 養 鶏	1	マレーシア		
	1	ザンビア	有	2		1	バングラデシュ	有	35
102 稻 作	1	フィリピン	有	3	1	バングラデシュ	有	36	
	2	バングラデシュ	有	4	1	マラウイ	有	37	
105 野 菜	1	バングラデシュ	有		1	ザンビア	有	38	
	2	ケニア	有	5	144 養 蜂	1	コス・タリカ	有	39
	1	タンザニア	有	6	1	パラグアイ	有	40	
	1	ガーナ	有	7	145 獣 医 師	1	シリア	有	41
	3	セネガル	有	8		1	ザンビア	有	42
	2	マレーシア	有	9	1	ザンビア	有	43	
	1	マレーシア			2	セネガル	有	44	
	3	バングラデシュ	有	10	1	セネガル	有	45	
	2	バングラデシュ	有	11	1	パラグアイ	有	46	
	1	バングラデシュ			152 漁業協同組合	1	ホンデュラス	有	47
4	ケニア	有	12	1	ホンデュラス				
10	セネガル	有	13	162 製菓・製パン	1	マレーシア			
1	ホンデュラス			166 水産物加工	1	スリ・ランカ	有	48	
1	西サモア	有	14	1	ホンデュラス	有	49		
106 果 樹	1	西サモア	有	15	173 生態調査	2	ザンビア	有	50
	1	バングラデシュ			181 漁具漁法	1	フィリピン	有	51
112 き の こ	1	シリア	有	16	1	フィリピン	有	52	
	1	ケニア	有	17	1	フィリピン	有	53	
116 土 壌 肥 料	1	バングラデシュ			1	シリア	有	54	
	1	ネパール	有	18	1	ガーナ			
	1	シリア	有	19	1	セネガル	有	55	
120 農 業 土 木	1	タンザニア	有	20	1	ホンデュラス	有	56	
	1	タンザニア	有	21	182 養 殖	1	フィリピン	有	57
125 農 業 機 械	2	マレーシア	有	22	1	フィリピン	有	58	
	3	ネパール	有	23	1	フィリピン	有	59	
	1	ケニア			1	フィリピン	有	60	
	1	タンザニア	有	24	1	スリ・ランカ	有	61	
	1	ガーナ			1	シリア	有	62	
	2	ベルー			1	シリア	有	63	
	1	マレーシア	有	25	1	ケニア			
	1	マレーシア			1	マラウイ	有	64	
	5	バングラデシュ	有	26	1	ザンビア	有	65	
	2	シリア	有	27	1	セネガル	有	66	
1	タンザニア	有	28	1	ト ン ガ	有	67		
1	ザンビア	有	29						
1	ガーナ	有	30						
141 家 畜 飼 育	1	ホンデュラス							
	1	フィリピン	有	31					
	1	フィリピン	有	32					
	1	フィリピン	有	33					
	2	タイ							
2	シリア	有	34						
2	ガーナ								

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 7月 17日

ガンビア

101 食用作物

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Farm Manager / <del>農場長</del>	(男) 1人	訓練開始 57年4~6月
	(日本語) 農場長	(女) 人	派遣予定 57年8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): OFFICE OF THE PRIME MINISTER

(日本語): 総理府

2. 隊員勤務先名称: NDOLA URBAN DISTRICT COUNCIL COMMERCIAL UNDERTAKING DEPARTMENT 日本語名称 (Ndola市役所商業事業局)

所在地: P.O. Box 71198 NDOLA 主要都市からの距離 (Ndolaより20キロ)

3. 事業規模及び内容: Ndola市役所商業事業局は国の地方農業振興政策(リマカジュフ)の一環として1976年中営農場としての700エーカーの土地を確保し、既にそのうちの120エーカーを牧牛、果樹、野菜、穀物の栽培に開拓したが未だ黒字経営に至っていない。23名の現地人農業技術者と多数のWorkerがいるが農場長はいない。(51エーカーの野菜畑に敷設されている)

4. 設備概要: 豊富な地下水を利用した3気筒ディーゼルエンジンに組み込まれている灌漑設備、スプリングにある4棟の鶏舎(600羽収容可能現在は600羽しかいない)、採乳場1棟(24頭同時搾乳可)、豚舎、農機具作業所、消毒設備、飼料作業所、事務所等、農業設備は一通り揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は農場長あるいは農場長代理としてすべての農場経営に係わる業務とこなすほか、現地人スタッフに仕事を通じて訓練指導する。

- 1) 隊員の地位: 農場長あるいは農場長代理(商業事業局長の下となる)
- 2) 技術的範囲: 酪農、果樹、野菜、養鶏、養豚、穀物を含む大規模農場の生産技術及び経営全般にわたる広範囲な知識・技術が必要となる。
- 3) 業務の形態: 隊員は中で経営する大規模直営農場の農場長として全部を任されるTopの地位にあり、農場長としての事務処理、経営指導はもとより現場にあつても実地指導を行なうことになる。
- 4) カウンターパート: 農場長代理、農業専門学校を卒業した22名の技術者がカウンターパートになりうる。
- 5) 現地で利用できる機材: トラクター、鋤、鋤、飼料作製機、脱穀機、消毒機、精粉機、種播き機。
- 6) 職場に於ける外国人: なし
- 7) 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国の農業振興政策、特に“家畜飼料を自国生産しよう”とのキャンペーン中で、現実には飼料にまで手が回らない非常に難しい状況を抱えながら当Ndola市は農場経営をしてきた。しかし未だ商業ベースにまで至っておらず、高度な技術水準、知識を持つ日本人農場長を迎えることにより、自前での家畜用飼料を作れるようになり、黒字経営になるまでアドバイス、手助けしてもらえぬ人物を我がJOCVを通じて強く期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大卒 (農学部、修士課程卒業であれば可) 以上。
- ② 実務経験5年以上 (大規模農場)
- ③ 単車運転免許
- ④ 英語必須
- ⑤ 上司としての指導力、経営能力のある者

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 30日

101 食用作物

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 57年 4~6月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57年 8~10月
	農場経営	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): OFFICE OF THE PRIME MINISTER  
 (日本語): 総理府

2. 隊員勤務先名称: Mufulira District Council      日本語名称 (ムフリラ市役所)  
 所在地: P.O.Box 798, Mufulira      主要都市からの距離 (ムカより400キロ)

3. 事業規模及び内容: 1978年市が私有財産であった26haを直営の市営農場として買いあげ、1.5haが耕地で、バナナ、メイズ、野菜、養鶏、豆類の生産経営にあつてきた。現在3名のザンビア人農業技術者、17名のWorkerがいる。

4. 設備概要: 事務所、作業所、簡易灌漑設備、スプリングロー、小型トラクタ、倉庫、鶏舎1棟(千羽収容可能)農機具類が備わっている。(例) ホンダ耕運機一式、揚水ポンプ

(2) 隊員の業務内容: 現在行なわれている上記農作物が商業ベースにのりて自立採算がとれるように現地スタッフを使って指導すると共に、この農場がザンビア人農業従事者にとってよい生産経営の見本、刺激となり、地域農業振興を促進するよう努めなければならぬ。

① 隊員の業務上の地位: 農業経営アドバイザー

② 技術の範囲: 食糧、野菜、家畜を含む大規模農場の生産技術及び経営全般にわたる広範囲な知識技術が必要となる。更に現地の酸性土壌に適した農作物の育成、土壌改良も必要となる。

③ 業務の形態: 気象、水利条件を考慮した上で栽培作物を耕地に割り、Workerを使って商業ベースに乗るよう実践し、指導する。

④ 対象者及びカウチングパート: 農業専門学校を卒業した3名の技術者がアシスタントとなりうる。他に17名のWorker

⑤ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国の地才農業振興政策(リマ・プロジェクト)の環として各地才自治体は農場直営をしており、また商業ベースにのりていない。そのためいかに有効な農場経営をするかに腐心しており、当ムフリラ市役所においても新しい外国人経営アドバイザーを受入れることによりこれまでの赤字経営にリフトを打ち、商業ベースに乗せることを期待している。知識、技術、マネジメンツ全般について高く評価されている日本の農業アドバイザーを我が国を通じて派遣されることを強く期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 農大卒
- ② 実務経験 5年以上: 実際に小さくとも農場経営をしていた者がふさわしい。
- ③ 単身免許
- ④ 英語必須    ⑤ 健康にして、自らの健康管理ができる精神力の強い者

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

101 稲 作

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年 2月
	Storage Quality Control 米穀品質管理技術	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Agricultural Credit Administration (ACA)*  
 (日本語): 農業信用機構

□. 隊員勤務先名称: *Compact Farms clusters* 日本語名称 ( )  
 所在地: *Baliwag Bulacan* 主要都市からの距離 (マニラより 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *Compact Farm* の米を玄米に貯蔵する米倉の建設と市場の動向に即して米を玄米にする *Rice Mill complex* を建設する *Complex* の規模は 7122.34 ㎡ 最終決定を行ってほしい。  
 ニ. 設備概要: *Rice Mill complex* には、必要の設備、機械を数置してほしい。詳細は別紙 (英文) 参照

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: *ACA* 所属の技術者  
 技術の範囲: 米の品質管理に係る全般的な知識  
 業務の形態: *Rice Mill complex* 内の少く技術者に任じて、現場指導及び監督。  
 対象者及びカウンスラーとしての技術水準、号丁、及び年令: 具体的な counterparts は今後の決定に任ずる; 適格者を得た場合技術指導を依頼したい。  
 現地で利用可能な機械: *Rice Mill complex* は、少くも設置してほしいものあり、必要設備、資材等は整える予定。  
 取場に就く予定の国人及び日米管内案の配置状況: 今更に入りの *Volunteer* が全体の計画立案者として参加を予定  
 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *フィリピン* に於ける米の生産の増進に伴い輸出が可能となっている。今更に *Compact Farm* に於ける *ACA* の生産指導がある。今後の課題は、いかに有利に市場へ出せるかである。今更に *Rice Mill complex* を建設し玄米にする貯蔵を促してほしい。日本に於ける米の貯蔵方法を高く評価して、その技術を隊員に任じてほしい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

当該分野に於ける経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月15日

101 稲 作

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Agronomy	(男) 2 人	訓練開始 56年10月
	(日本語) 101 稲作	(女) 人	派遣予定 57年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
(日本語): 農林省農業管理局

2. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute 日本語名称 (農業普及員養成所)  
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。現在全国12カ所が完成しており、内4カ所に隊員が配属されている。

4. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、トラクター等整備されている。

(2) 隊員の業務内容: 現在は2年制 (近く3年制移行予定) の農業普及員養成所で、農学I, II等8教科あり。隊員は主に稲作を担当し、実習指導にあたる。

1. 隊員の業務上の地位: 校長直属の教官

2. 技術の範囲: 稲作栽培が可能なこと。担当する農学IIは必ずしも稲作のみではないが、場所によっては野菜隊員と共同にこれにあたる。

3. 業務の形態: 圃場による実習指導を主とし、語学の不自由がはかばかば教室での講義、試験監督等にあたる。

4. 対象者およびカウンターパート: 生徒は18~20才で初めて農業を学ぶ。カウンターパートは教官であるが大半3年位が多く、理論に詳しいが実習経験に乏しい。

5. 現地で利用できる機材: 上記設備

6. 取場における外国人等: JOCV隊員野菜、農業機材が他AETIに多い。

7. 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語。校長、教官等は英語も必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和48年10月以来5代に渡り4カ所に配置されていたが、来次5か年計画により新設により各AETI配置に欲しい旨の要請を行ったものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 10 月 18 日

102 稲

作

調査者氏名 豊 嶋 一 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	RICE SPECIALIST	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 10 月迄に現地到着のこと
稲(米)作			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語):

Ministry of Agriculture

(日本語):

農業省

ロ. 隊員勤務先名称:

District Agricultural Office 日本語名称 (県農業事務所)

所在地:

首都ナイロビより 300km 以上 主要都市からの距離 (ナイロビより 200キロ) 以内

ハ. 事業規模及び内容:

来年度5年計画では農業と教育に重点が置かれているが、特に農業関係では輸出作物振興の他米穀生産増50%が注目される。各地スキムの増設と拡大に多額の資金が計上される見込みである。

ニ. 設備概要:

**(2) 隊員の業務内容:**

隊員は自然排水域、沼澤地、河川域等、他作物に不利で歴史的にも取残されて来た場所に米作を導入あるいは発展、拡大させ、地域開発の一助と見做す。県農業事務所を基盤とし、稲作振興に関する全体的技術的援助を行う。事務的報告・処理を担当する。

① 業務上の地位: District Rice (Production) Officer

② 技術の範囲: 米栽培の各ステージの管理指導は勿論、他作物についての知識も要

③ 業務の形態: technical extension, demonstration と担当(計画・履行・責任)

④ 対象者・カテゴリー: 米作農民、隊員と農民の間にはインテリゲンチアの TA、その他で働く J.A.A がある。TA・JAA を指導しうまく使うことも所要。

⑤ 利用できる機材・組織: 県農業事務所にはこれらに農民に供する機材はない。

(demonstration 用として若干の機材はある)

T.H.S (Tractor Hire Service), N.I.B (National Irrigation Board) M.P.B (

Maize & Produce Board), Cooperative Society, S.S.I.U (Small Irrigation Units)

は組織としていろいろな場面で見られる。

⑥ 才力・日本専門家: Provincial Irrigation Engineer (インテリゲンチア), Cooperatives のピーサー

⑦ 言語: 英語(オランダ語)。一般にはスワヒリ語。特殊地域では部族語要

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

農業省内では各地稲作プロジェクトについて、折からの米不足から日本人インテリゲンチアに対する期待が大きくなり、食用作物課長、作物局長とも各プロジェクトに日本人インテリゲンチアを強く推している。また、隊員の持つ技術の他、稲作発展に関する機材の導入による早急な開発を期待していることは事実である。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

一応 (短大あるいは大学卒) に限る(作物専攻)、農業改良普及員資格、単車免許。経験年数は別に伺いたい。現地で学び、現地で普及させるに最良の方法を見つけ出し、地域開発に最善策を思案できる者であれば可。



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和55年3月20日

調査者氏名 大西規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 55年10月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年2月
	RICE PRODUCTION 稲 作	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配 属 先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *National Agricultural and Food Corporation*

(日本語): 農業食糧公社

ロ. 隊員勤務先名称: *MBARALI Rice Farm* 日本語名称 (ムバラリ) 稲作農場

所在地: *MBARALI* 主要都市からの距離 (ムバより) 156キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1959年FAOの協力で計画され開設されたパイロットファームである。大規模な灌漑設備を有し、7月農産物の20%を生産している。作付内容は稲作2300ha、トウモロコシ400ha、大豆500ha、トウモロコシ160ha、レトセーンズ12ha (1979年)。事務所、宿舎などは充実しており、現在365人の

ニ. 設備概要: 現地人スタッフが働いている。ほか大型のトラクタがあり、米、粟、面積中1割ほどのトウモロコシ、ライスハーベスターの農業機械が揃っている。

**(2) 隊員の業務内容:** 現在主として4品種 (IR8, IR579, KILOMBERO, SURINAMS K242) が作付けされている。他に日本種 (コシジロセ、ニホンバネ、イネカリ、フジミ)、トウモロコシ、トウモロコシの栽培試験中である。

・ 隊員の業務は寒冷期 (5月~9月) における日本種の試験栽培を中心に行うほか、稲作全般 (播種、除草、施肥、水利、収穫等) の管理、調整を行う。

・ 現任同農場は3エニトに別れ、各2エニトはタイ人の4人がおり、そのうちの1人 MR. CHARLES MALLISA は1978年の10ヶ月間 JICA の内定セクターにおいて研修を受けており、隊員は同4人と協力して業務を行うこととなる。

・ 同農場には現在中国人30名 (1969年から中国の援助が開始された。30名中通訳1名、稲作専門家4名が含まれている) 12人1名 (会計士) センテール人 (メカニカルエンジニア) が活躍している。

・ 使用言語は業務上現地人との係わりが深いのでスワヒリ語が望ましい。

・ 機材については不足しているので赴任時の携行は必要ない。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

先般日本政府から無償で日本米が供与されたが優秀な日本米に感謝した農業大臣が日本の稲作技術を是非導入したいと要請して来たものである。また現場では昨年から日本種の試験栽培が行われているが、技術上の不足から十分な満足を得る稲作米ができていないのが協力隊員に寄せられる期待は大きい。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

○ 大卒 (農学部) ○ 稲作の実務経験2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 10 月 13 日

101 稲 作

調査者氏名 <sup>駐在員</sup> 中野 勝安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
が-ナ	(現地公用語) Rice Agronomy	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture  
(日本語): 農 業 省

ロ. 隊員勤務先名称: c/o. NASIA RICE CO. LTD 日本語名称 ( )  
所在地: P. O. Box 589, Tamale 主要都市からの距離 (アクラより 500キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 北部州の州都 タズレ 人口 10 万人、首都 アクラ から 200km  
タズレを中心に 70km 圏に水田プロジェクトが 5カ所あり

が-ナの水田向産地帯である。傾斜率は 20%、後は天然の雨。  
ニ. 設備概要: 設備はほとんどない。ガソリンエンジンの場合、交通手段はバイクに依存する。

(2) 隊員の業務内容:

タズレにおいて稲作の指導に従事する。

水田地帯が 5カ所にわかれている。タズレから一番近いところは

が 15km、遠い所は 70km のところもある。時々四輪車を

利用して普及活動に努める時もあるが、ほとんどバイクが足

である。指導は NASIA のスタッフ 及び 労働者に行う。

一般の農民に指導しない (農民は個人的稲作をしていない)

一日 10 時間 外回りであるので体力が強い必要がある

が求められる

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

今日は日本人 3 代目である。初代が <sup>(2年)</sup> 農作家、二代 <sup>(2年)</sup> JOCV、産みの代である。  
受入先においては評価が高い。心算分が仕事が出来るところである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 出来れば実務経験が 1 年でもあった方が

・自動車運転の免許取得、体力健康、深瀬(泳ぎ)は当国で未習でない

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 5月 23日

102 稲 作

調査者氏名 茅根 実男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語) RIZICULTURE	(男) 3人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) 稲作	(女) 人	派遣予定 57年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 *Secrétariat Exécutif des CER*

1. 配属先名称 (現地公用語): *Secrétariat d'Etat à la Promotion Humaine*  
 (日本語): 地域住民育成 農村近代化センター局

ロ. 隊員勤務先名称: *Centre Expansion Rurale de Diak* 日本語名称 (センター) 農村近代化センター局  
 所在地: *Diakounda* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: センター内には、農業、畜産、水産、生活改良(婦人生活対象) 森林、技術行者が在住し、所管の住民に対して技術的の助言活動と 知識教育をおこなっている。

ニ. 設備概要: 2部屋の事務所、ガレージ、倉庫、1棟、6官舎、井戸(電気なし)

(2) 隊員の業務内容:

隊員は日本での農業改良および生活改良普及事務所としての機能に稲作技術の普及および助言者の立場で西2層に居る。

この地方ではよからカガマンス川の沖合に湿地を利用した稲作が盛んである。Hiverage (熟地への両月)の両月利用は5月~11月の稲作、熟地期には灌漑を伴った稲作がおこなわれている。

稲の種類は I.K.P. (Ikumpar) Taiching (Native) といわれ、水稲である(陸稲もとりにおこなわれているが「稀少」)。この地方の稲作は、現地の婦人が中心でおこなわれている。粟はほとんど手出しにして、習得である。自給食糧の増産はセネガルにおける最も重要な課題であり、水の豊富で同様に世界銀行によるフランスの援助で SOMIVAC (Société de Mise en Valeur Agricole de la Région de Casamance) という組織が立ち上げられ、西2層地には PRS (Projet Rizicole de Sedhiou) という稲作の南進計画がある。

隊員は、これらの組織の担当者として連携し、技術的の助言を得ながら、任務をおこなうことになる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

~~農業改良の推進~~ 及び、外貨を食糧輸入に費やしているセネガルでは、食糧の増産が緊急の課題であり、当地カガマンス川は可能性のあると見て、最も期待されている。中国をはじめ各国の援助、技術指導は盛んであり、こうした背景を踏まえて、稲作技術者として日本のボランティアの要請があった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(稲作経験者 3人以内) 農家出身であることが可。

フランス語、ドイツ語

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

53.7.25

10302 野 菜

記入昭和 54 年 5 月 28 日

調査者氏名 草野忠行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Taman Sayur	(男) ● 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Lembaga Kemajuan Tanah Persekutuan (Felda)  
(日本語): 土地開発公団

ロ. 隊員勤務先名称: Felda 入植地 日本語名称: ( )  
所在地: 未定 (隊員派遣が決ま後決まる) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Felda 1つの入植地面積約 4000~5000エー, 入植家族数 400家族からなる入植地を全土に約 262ヶ所所有しており、それらの地を  
加工栽培・生産している。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 各入植者の家と巡回訪問し、庭先や近くの空地に自家消費用野菜を栽培  
する普及指導の事が要請されている。
- ・ Feldaは野菜栽培隊員専属のからい-10-1 (野菜栽培普及隊)を配置し、普及  
のためからい-10-1-1の村にも野菜栽培技術を指導すると共に、11の  
普及活動を行う。
- ・ 入植者の主たる仕事は、カリウムやゴム園の管理であり、自家菜園の管理は  
主たる仕事の終了後余暇の時間とあるため、巡回指導は午後4:00 2:30から  
始まる。12:00 午後の時間、展示園の管理につきやされる。
- ・ ナス、ネギ、ニンニク、スイカ、モヤベシ、オクラ、葉巻菜、トウモロコシ、インゲン、  
落花生などが植えられている。
- ・ 使用言語 ⇒ ~~マレー語~~ マレー語 ・ 機材 ⇒ 作業衣 240 の携行が良い  
(レポートが書けるものがある)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

入植者が自家菜園を持ち野菜を自給することと余剰の現金支出を防ぐという  
考えから、これまでに11名の隊員が派遣された。(現在6名が活動中)  
これら前任隊員の業績が高く評価され今回の要請とある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業大学卒業 (高卒でも農業高校卒で野菜栽培の  
経験 2年以上の野菜栽培経験 (実務経験) がある)

(車庫 (90cc) 運転できる)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月17日

10302 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バンラディヤ	(現地公用語)	(男) 3 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 10303 野菜	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1982年 4月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
(日本語): 農林省農業管理局

2. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute (日本語名称: 農業普及員養成所)  
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。現在全国に12カ所が完成しており、内4カ所に隊員が配属されている。

4. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、トラクター等整備されている。

(2) 隊員の業務内容: 現在は2年制(近く3年制移行予定)の農業普及員養成所で、農学I, II, 農業機械等8教科あり。隊員は主に農学IIの野菜を担当し、実習指導にあたる。

1. 隊員の業務上の地位: 校長直属の教官

2. 技術の範囲: 野菜栽培が可能なこと。トマツ、西瓜、ナス、カンコン等。

3. 業務の形態: 圃場における実習指導を主とし、語学の不自由がなければ教室での講義、試験等にあたる。

4. 対象者およびカウンセラー: 生徒は18~20才で初めて農業を学ぶ。カウンセラーは教官であるが大卒3年位が多く、理論に詳しいが実務経験に乏しい。

5. 現地で利用できる機械: 上記設備

6. 取場における外国人等: JOCT隊員和作、農業機械が他AETIに11名。

7. 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語、校長、教官等とは英語も必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和48年以来5代に渡り2カ所に配属されているが、第2次5カ年計画による新設により、各AETIに配属して欲しい旨の要請があったものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Seedling	(男) 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 2 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 8 月 受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Women's Programme, Integrated Development Programme (IRDP)

(日本語): 総合農村開発計画 婦人プログラム

2. 隊員勤務先名称: Jhikargacha BU Shasha Rural

日本語名称 ( 農村婦人組合 )

所在地: Women's Co-operative

主要都市からの距離 22 マイル

3. 事業規模及び内容: IRDP 婦人プログラムは1974年よりスタートしているが

実績、規模も小さく、回教国の婦人の社会的地位の向上を目指し、2次5年計画により婦人の経済的生産活動に従事するための指導が取り上げられている。

4. 設備概要: 全国に190の婦人組合があり、ジャルガチャは13村約1,500名、ジャバは18村 600人程のメンバーがいる。

(2) 隊員の業務内容: 婦人プログラムは、家族計画の推進の他、農協での家政講習会や飼育、養鶏、家庭菜園、手工芸、軽竹工業への貸付等を実施してきた。今回の野菜は、夫が稲作に出ている内、家庭用菜園促進の他、周囲で出来る上記の全般について指導して欲しいとの要請である。併せて野菜種子の生産も行っている商業ベースにのせたいとの意向があったが、農業に暗い人たちの企画であり、あまり深く考へる必要はないと思われる。

1) 隊員の業務上の地位: 婦人組合の助言者

2) 技術の範囲: 野菜の栽培技術がある他、生活改良普及員的に幅広く一語に考へ工夫できる人。

3) 業務の形態: 組合員のいくつかの圃場指導

4) 対象者およびターゲット: 農村女性が対象であるが、社会に支障の場合が多くほとんど文盲の人たちである。

5) 現地で利用できる機材: プロジェクターとテープレコーダー程度

6) 取場における外国人等: 中央にアハサセと西側婦人

7) 使用する言語: ベンガル語

8) その他: モスリの農村社会に外人女性が住むにはいろいろ困難を伴う。相応の覚悟が必要。2人ずつペアとわけて入る。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 婦人プログラムの責任者は昔、日本人専門家の婦人に接し、何をやるとも見ており、過剰な期待をしていない。しかしながら、各技術について素人であるため、企画も実行の域を去らないものも多く、隊員によって実態づくりが求められる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部卒、初級JOCV女性隊員として、閉鎖的農村社会に住むことに挑戦してやるという心構えのある人。

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 9 月 9 日

調査者氏名 豊島 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) HORTICULTURE	(男) 4 人	訓練開始 57 年 4 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 57 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE  
(日本語): 農業者
- ロ. 隊員勤務先名称: DISTRICT AGRICULTURAL OFFICE 日本語名称 (果農業者事務所)  
所在地: 各県主要市 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 果物の農業を主管する事務所であるが、日本の中・小都市の農業主管課程度のもの。
- ニ. 設備概要: 事務所と附属の試験場等の設備がある場合が多い。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 技術普及員
2. 技術の範囲: 野菜栽培全般。場合によっては果樹栽培が含まれる
3. 業務の形態: 普及活動及び展示菜園の管理
4. 対象者(相手): 農民が対象であるが、カウンターパート的存在としてケニア人教員、のほかに作業員がいる。
5. 利用する機械: ない。
6. 知り人・知人関係: 年和部隊(和)等と協力して仕事をする場合もある。他にドクター、農作業機械等もいる。
7. 使用する言語: 英語・スワヒリ語
8. 交替かどうか: 一度交替要員と交代されるが、場合により新しい県に配属される可能性もある。  
交替の場合、森正志(53.2.前)、黒田謙三(54.2)の交替がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアは農業国であり、第4次5年計画に於いて教育と共に農業の振興に重点がおかれている。特に最近の海外へ輸出用の高級野菜の栽培技術の向上が目標となっており、日本の協力隊の活躍が大いに期待されている次第。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大又は大学卒。或は県の農業技術研修所卒と見なされる。但し(年齢は22歳以上)で若干の実地経験があることが望ましい。(卒業免許)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 野 菜

記入昭和 56年 5月23日

調査者氏名 葛根史男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
セネガル	(現地公用語) Maraichage	(男) 10人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 57年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 (Secretariat Executif des CER)

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Secrétariat d'Etat à la Promotion Humaine*  
 (日本語): 地土或住民高成庁 農村近代化センター局

ロ. 隊員勤務先名称: *Assistant Raporte mental des CER* 日本語名称 ( )  
 所在地: 国内各州内の支局に勤務する 主要都市からの距離 ( ) 以上 ( ) 以下

ハ. 事業規模及び内容: 州の下に県、郡の事務所があり、毎年この農業改良普及活動的業務を行なっている。

ニ. 設備概要: 特に設備は下い配属先には72農家を指導する農場中心に指導する場所がある。整備し場所には設備がある。

(2) 隊員の業務内容:

隊員は日本からの農業改良普及活動的の立場にあり、県内の4つのCER事務所(農業、畜産、水産、家政など)とどのに相当技術者が存在している)も定場には農家に近い立場で、農業全般に同じ目線で指導を要する。とくに野菜に同じには、婦人の労働の対象とした菜園造成がアメリカのAIDの援助で進められており、中国技術協会の進出もあり、14ヶ村で菜園がつくられ、その中には野菜の栽培が引上げられた。婦人の子供達にトマト、玉ネギ、オクラ、キャベツ、トウガラシ(ピーマン)が栽培されている。適切な技術的指導の必要は必要だが、また、病虫害に対する対策も必要である。県内の4ヶ所のCERは、最近存在しており、状況も把握し、自分のフィールドを限定するのは可能である。

言語はほぼフランス語。住民は複雑な言語を話すが、フランス語が主体である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: すでに住民は野菜作りをしており、家畜の導入を望む。畑と田んぼは、右にあり、野菜栽培の下地は充分ある。自作自給の土地が、両方、季節毎に自由に農業への投入を可能にする。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
 農業改良普及員資格 (野菜栽培 2-3年の経験者) WEA



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年2月12日

10302 野 菜

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィジー	(現地公用語) Small Crops & Vegetable	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 1957年 1月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Education Department

1. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Vaipouli College

日本語名称 (国立バババウリ高等学校)

所在地: Vaipouli, Fagamalo, Savaii

主要都市からの距離 (バババウリより60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同校はS.S.S校 (Government Senior Secondary School) 4校あり、うちの一校あり。サバ島では唯一の国立高校がある。

キャンパス面積284エーカー、生徒数186名、教師数14名。学年はForm 3, 4, 5 Lower, 5 Upper

ニ. 設備概要: 1に分れており、英語、数学、サバ語、生物、科学、地理、社会科学、美術、木工、家政等のクラスがある。現在、農業関係のクラスは設置されていない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教官 (Instructor, Field Officer)

② 技術の範囲: Form 3 ~ Form 5 Upper (年相応には高1~高3) までの生徒を対象に、一般野菜 (葉菜、根菜、果菜) についてのフィールドでの栽培指導を行う。クラスでの授業はない。従って、"農学一般"の隊員の連携プレーが求められる。従って、家畜飼育 (畜牛、乳牛、ブタ、家禽 → 主に鶏) の指導も要請されている。この方面での経験があれば、尚方良い。

③ 業務の形態: フィールドでの実習指導。

④ 対象者: 毎年13校~19校位までの生徒約180名。全が女子学生。カウチングについては、生徒の志願による。

⑤ 職場の人数: 2-3名、米田教師各1名

⑥ 任用の言語: 英語、場合によりサバ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

学問的に裏付けされたファーマー養成。

フィジーに行政官の

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒、経験1~2年

家畜が農家、家畜飼育 (特にニワトリ、ブタ、牛) の経験があれば最適。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年3月18日

10302 野 菜

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Small Crops & Vegetable (日本語) 野菜栽培	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 57年1月 受入期限57年1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Education Department

1. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Avele College 日本語名称 (国立アヴェレ高等学校)  
所在地: Avele, Apia 主要都市からの距離 (アピヤより10キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 西サモアには、S.S.S.校 (Government Senior Secondary School) と呼ばれる最高学府が、三校あり。同校はこの国一校のみ。生徒数439名、教員数21名。学年は Form 3, 4, 5 Lower, 5 Upper, 6 に分けてあり。英語, 数学, サモア語, 生物, 科学  
ニ. 設備概要: 化学, 物理, 地理, 社会科学等がクラスに存在する。1959年、農業高校に発足したため、伝統的に男子校にあり、女生徒はいない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教官 (Instructor, Field Officer)

② 技術の範囲: Form 3 ~ Form 6 (年齢的には高1 ~ 高3) までの生徒を対象に一般野菜 (葉菜, 根菜, 果菜) に関するフィールドでの栽培指導と行状のクラスでの授業を行う。

③ 業務の形態: フィールドでの実習指導。

④ 対象者: 年齢13才 ~ 19才位までの生徒約450名。  
オリエンタルについては、生徒の中から選抜可能。

⑤ 職場の外国人: ニュージーランド, アメリカ, インド人教員が計7名。

⑥ 使用する言語: 英語

(同校は)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業実習に専念を促した高等学校に発足したが、現在では、他のS.S.S.校同様、ニュージーランドの大学入試を目指す学校となっている。結果、農業実習が疎かになり、耕地は荒れ地のまま放置されている。隊員には、野菜栽培に関する一歩の権限を責任を負わせることになるだろう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学卒。経験1~2年

家族が農家であれば最適。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

二次試験結果に 10303 果樹

記入昭和 5 年 9 月 15 日

調査者氏名 柴田好文 (新加坡)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) Pomology	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 果樹	(女) 人	派遣予定 81 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform.

(日本語): 農業農村改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agricultural Research (日本語名称: ドウマ中央農業試験場)

所在地: Douma 村

主要都市からの距離 (ドゥマ) より 20 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 3階建てビル 2むね, 付帯農場 約 1.5 ha, エンジン約 40 名

他 7-カー 30~40 名, 本年完成した大規模な植物環境制御室。写真別添。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: (リンゴ) おおは (モモ, ナシ, ナンゴ, アブコ, アズキ) の台木, 接木, 土木の間に  
る個人がその剪定方法に関する試験研究に力を入れる予定。(リンゴ) と (桃) 果類 (モモ, ナシ, ナンゴ,  
アブコ, アズキ) の部門はチームが中心であり, 隊員自身は所属部門を自由に選択できる。

① 隊員の業務上の地位: 研究員 ② 技術の範囲: 上記の分野に於いて, 専門家に近い技術  
水準があることが望ましい。本試験場は研究機関としてかなり確立されているので 試験・研究技術や  
知識を求めている必要あり。③ 業務の形態: 本試験場では上記のチームが中心で試験を  
スルカヤ, ナラ, スルカヤ等の地方市場に出張して行なう。上司と共同して研究チームの指導と報告  
を受ける。自ら研究プロジェクトを執行する。④ カンパート: リンゴの場合, 英語の話者男性 2 名  
と女性 2 名, 他は英語話者 2 名, ナシは英語話者 1 名, 桃は英語話者 1 名, ナンゴは英語話者 2 名 (中  
1 名英語話者) いる。⑤ 現地の利用される材料: 果樹セブンの実地を一部に設備してあり,  
材料に於いては隊員報告書でその詳述。⑥ 他国の専門家や技術者は派遣されていない。

⑦ 使用する言語: 全くアビジ語で話せることが望ましいが, 十分話せるようならば 5 年以上は必要ない  
英語と主としてアビジ語の向上に努める。アビジ語に於いては十分な程度, 取組関係が薄い。  
英語のレベルは限定的であるが, 英語が得意であれば多少の面で有利。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

リンゴ, 桃果類に於いて, 果樹の中心として現在新植樹が比較的盛んで生産増加が期待されている。  
今後の発展のため, カルシウム土壌, ネマトード, 虫害に耐性をもつ台木の選抜, ツリテ直しの繁殖法  
- 剪定法の開発, 特に関心しているのは, 雌性台木の導入等の問題解決が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(大学 (農学部)) 上記の業務内容に於いて 2 年以上の実務経験があることが望ましい。又農業試験場  
でのチームの研究に力を入れた経験をもっていることが最望。なお, 如左のチームでの実務経験が  
あれば試験場にて研修を受ける必要あり。

上記業務内容と適宜の試験を受けること

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和<sup>5</sup>年10月18日

106 果 樹

調査者氏名 豊 嶋 一 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
	果樹作	(どちらでも可) 人	受入期限 年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Agriculture*  
 (日本語): 農業省

ロ. 隊員勤務先名称: *District Agriculture Office* 日本語名称 (県農業事務所)  
 所在地: 首都ナロビ 100 km 以上 主要都市からの距離 (50より200キロ以内)

ハ. 事業規模及び内容: ~~柑橘類~~の苗木生産は全国的に進められてきているプロジェクトだが、拡大開発の途にある。政府は海外輸出向けにカンキョウ(シトリン)マンゴ、アボカド、などの熱帯果樹を今後増産計画で、プロジェクト、プロビシナル、リサーチ・ステーション、バリエーションを兼営している。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

*fruit tree extensioner*, プロジェクト内において苗木生産と果樹の管理に任ず。特に果樹管理指導は剪定、施肥、病虫害防除及び生育不良の原因を究明し、果樹健全に育つことに努める。

① 業務上の地位: District Crops Officerあるいは District Horticulture Officerの下にあり、TA (Technical Assistant) を指導し、自ら in charge とし活動する。

② 技術の範囲: 苗木生産、苗管理、定植、施肥、病虫害防除の実際を知り置く必要がある。

③ 対象者: カウンサラー; カンパイルビラー, 一般農民。

④ 業務の形態: T.A. 苗木生産、管理者, extensioner.

⑤ 利用出来る機材: 若干ある(インダスター, 農業用 tools)

⑥ 相国人、日本人専門家: ドイツ人専門家、ピーコー

⑦ 言語: 英語, スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業省の意向は海外輸出作物を増産し(西ヨーロッパ, 中近東)外貨獲得の道を開き、自国の利益を計ろうというので、果樹作に対する熱意を見る。期待は直接農民というより、政府の方にある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大以上の大学卒, ○三年の経験年数のある者

単車免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105きのこ  
105きのこ

記入昭和54年11月21日  
調査者氏名 渡辺直明  
山本泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Mushroom Culture (日本語) きのこ栽培	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 55年4or6月 派遣予定 55年8or10月 受入期限 55年10月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation			
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture. (日本語): 食糧農業灌漑省 農業局			
ロ. 隊員勤務先名称: Division of Plant Pathology 日本語名称 (植物病理課)			
所在地: Khumaltar, Lalitpur, Kathmandu 主要都市からの距離 (市内より) 6キロ			
ハ. 事業規模及び内容: 将来の National Agriculture Research Center に予定されており、現在同敷地内には次の各課がある。Entomology, Soil Science & Chemistry, Botany, Agronomy, Vegetable, Potato, Veterinary, Agricultural Machinery.			
ニ. 設備概要: 栽培に必要な菌の培養に関する器具は一通り揃っている。			
(2) 隊員の業務内容: 前任隊員のおとを引継ぎ、同配属先においてキノコに関する栽培、研究、調査、普及等を行なう。			
① 隊員の業務上の地位: Gazetted III Class Officers (3等級任官) 相当			
② 技術の範囲 (a) 菌の純粋培養と種菌製造及び供給 (つくりたい、ふくらませ、からませ、たぎらせ、なめこ、えのきたけ)			
③ 業務の形態 (きくらげ etc.)			
(b) 外マズン盆地におけるシタケの栽培実行可能性調査			
(c) ネパールの気象条件下における「ふくらませ」の栽培可能性調査			
(d) なめこ、えのきたけ、たぎらせの試験的栽培			
(e) ひらたけのつら栽培と短木栽培の営利栽培方法の研究			
(f) ネパールにおけるキノコの在来種の調査、採集、分類及び保存。] 本年度は実施しているか			
(g) ネパールにおけるキノコの目録作成 ] 計画はある。			
(h) つくりたいの経済的(営利)栽培方法の研究(採算面も含む) → ほぼ終了			
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Miss Banu Pandey [M.Sc Botany, Specialization in Plant. Vikram University, Ujjain, M.P. India. Pathology 経験13年、1966~1979]			
Mr. Nara Hari Khadka [J.T. 農業一般につき経験12年]			
⑤ 現地で利用できる機材: 写真集参照 (0532-28, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100)			
⑥ 取場における外国人、渡辺隊員(053.8~055.8)が協力活動を行っている。本要請は同隊員の交替である。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ① 使用語言語: ネパール語、専門用語は英語、キノコ名は学名で知ってネパール国におけるキノコ栽培の基礎研究は1975年度から始めているが、近年農民も興味をおくこと。を示してきていることから、現金収入源として商品化するための技術のノウハウについて農民に対するキノコ栽培の普及、奨励を主目的としたデータ収集をせよとしている。従ってどの種類のキノコが栽培方法も含め商品化に有利であるかを調査、研究する必要がある。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
業務の形態は研究室型であり、技術の範囲は広範にわたるが、隊員の業務内容はシタケ栽培を主として他のキノコ栽培及び菌の培養、種菌製造が出来る者。従ってキノコ栽培、経験年数は2-3年、学歴は大学以上が望ましい。			
<渡辺直明隊員交替>			

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 9 月 日

105 きのこ

調査者氏名 阿部裕子 松原邦義

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フランス共和国	(現地公用語) マッシュルーム	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) (french) mushroom	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform  
 (日本語): 農業 農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agricultural Experimentation (日本語名称) (132 中央農業試験場)  
 所在地: Douma 主要都市からの距離 (92km) 20キロ

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: — FAO の資金援助 (2us, 247) に依り マッシュルーム栽培用洗剤 "Mushroom production Specialist" とし協力す。

— 73 年 Somycel Co. による i) Mushroom 普及の促進  
 ii) 種菌の育成 (技術情報) が主たる、iii) マッシュルーム栽培の促進、iv) 全体の 70% の増産、v) 栽培技術の向上に貢献す。

— 現地では、試験場、種菌と培養技術の技術者の育成に協力す。

— 同試験場の food technology section には 4-70 Mr. Omar は マッシュルームの栽培の技術の普及に 1-91 年 留學し、セルビア、東欧の 20-4-20 年 可能

— この技術の普及に 30 人程度が、実際に (247us) 種菌培養、生産販売の 22 us 54 年 (全体の 70% の増産、v) 栽培技術の向上に貢献す) が主たる、iv) 全体の 70% の増産、v) 栽培技術の向上に貢献す。

— 必要最小限の equipment は あり

— 言葉: 英語、アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 実務経験 5 年以上 フランス語に堪能 (132 中央農業試験場) 経験あり

# 日本青年海外協力隊派遣受人希望調査表

115 土壤肥料

記入 昭和 5年 10月 20日

調査者氏名 小塩 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
インド	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 52年 4 月
	(日本語)	(女) / 人	派遣予定 52年 8 月
	(日本語)	どちらでも可) 人	受入期限 5年10月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): Hammer Development Division, Ministry of Agriculture  
 (日本語): 農業者人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Ministry of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専攻学校)  
 所在地: ~~Mtwarra, Mpwapwa~~ Mtwarra, UYOLE 主要都市からの距離 (約 100 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: MAT Mtwarra は 6年制初級 (certificate) 課程の学校であり、  
 MAT Mpwapwa は 農業科の diploma 課程の学校に新しい certificate 課程を設け、  
 certificate 課程は 2年制であり、農業専攻の養成に努める。生徒数は両校共に 100名程度。

ニ. 設備概要: 両校共に農業科を専攻するに必要となる設備は、農業科の専攻科に必要  
 なものを備えている。特に Irrigation 使用に関する資料や農具の修理に必要となる

**(2) 隊員の業務内容**

certificate 課程 (日本語専攻科) の学生に Land Use 関連資料  
 の作成、灌漑設計、施工法 (除く合野即ちの土地肥料) ④土地改良  
 水の保存 ⑤灌漑理論 ⑥灌漑農業理論 ⑦灌漑条件下における輪作体系の  
 病虫害防除理論等、を指導する。

- ① 教科担当教師は 2名派遣する。
- ② 農業全般の知識の習得、特に土地学 (地帯学) 植物生理学、他に測量測量。
- ③ 申請隊員は 灌漑設計の施工員とパーシペルを派遣する。2人の隊員が協力して Land Use 関連の全教科を指導すること。また教室の教科指導は申請隊員の任務とする。
- ④ 生徒は Secondary School / 卒業生 20名前後、農業に関する知識は少ない。知識の習得は 2名の教師が担当し、 certificate 課程は学科制であり、農業全般の中で広く履修するに有利な理論的に深く追求すること。実践教育に重点を置く。
- ⑤ Irrigation Agronomy は今年 5月教育改革により、新しく導入された科目であり、これは農学専攻科の専任教師が担当。52年次の授業開始時に準備中。教材も不完全。
- ⑥ 調査時、MAT Mtwarra は日本人専門家の協力を受けて、生徒の希望に合った授業が可能。
- ⑦ 英語: 教室の授業は全て英語で行う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今年 5月教育改革により、certificate 課程に Irrigation  
 関係の科目を 1科目追加し、52年 6月授業開始に向け準備を進めている。現地の専任教師の確保が困難であるため、協力隊員に協力を要請している。当初、  
 先生は certificate 課程にもあるに、校舎に設備不足を要請した。調査の結果、  
 小人数の開始により、結果として、現地での 2年制に 2名派遣の計画が実現した。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
 農業を専攻する指導者としての経験と理論的知識を要する。特に  
 ① 大学卒業生 ② 英語表現力 ③ 農業経験 3年 以上 ④ 現地到着時の年齢 25歳以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

92-30

(回知本) 井上 栄

記入昭和54年9月10日

115 土壤肥料

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
72ガニ3	(現地公用語) Soil Science and Fertilizer (日本語) 土壤肥料	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限54年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Mansuher Development Div., Min. of Agriculture  
(日本語): 農業省 人材開発局

2. 隊員勤務先名称: Min. of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)  
所在地: Nyegesi (Mwanza) 主要都市からの距離 62kmより10キロ

3. 事業規模及び内容: 1977年農業普及の養成を目的として西ドイツの援助で700名程度の農業専門学校である。同校は2年制でIrrigationとAgro-Mechanizationの2科があり、生徒数はCertificate Courseが50名、Diploma Courseは20~30名。

4. 設備概要: 校舎はほぼ完成しているが、実習用の果樹は整備中であり、ホトシ施肥100%、パイロ1250%、灌漑用水路60%、耕地整理70%、排水工も40%、農道50%、栽培率40%という現状である。

(2) 隊員の業務内容: 実習場における化学分析と学生への講義が主体となる。学生が修得すべき科目は、植物・土・水の関係、土壌学、土壌調査、土地分類、土壌保全、一般作物栽培、灌漑作物栽培、作物保護、農業機械、測量、地田作教、土地調査、技術製図、灌漑工学、ホトシ技術と操作、作物管理、灌漑経済、フシコ外評価、政治教育等である。隊員はこのうち、植物・土・水の関係及び土壌学の講義を受け持つ(実習)学生はSecondary Schoolの卒業生を終了し、Certificate Courseを終了し、また数年の実務経験を経て入学する者が多くあり、中には相当の年配者(高年齢)もあり、程度は日本の農業短大ぐらいである。

同校は西ドイツの援助で開校したものであり、現在も4名の専門家がおり、他に2人ずつの日本人の専門家がおり、

機材関係は殆んど揃っており、隊員が携行すべき機材は参考程度で十分である。

日本人も多く、講義は英語を使うので英語は下記の条件である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

72ガニ3政府は全体的な規模で農業普及を目的としており、口袋農場に専任の普及官を派遣する普及官の養成に努めている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(大卒) (実務経験3年) (英語が堪能であること)



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農業土木

記入昭和54年9月12日

調査者氏名 金城 光男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Agricultural Engineer	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Drainage & Irrigation Dept. (DID)

(日本語): 農業省 灌漑排水局

2. 隊員勤務先名称: 州 DID 事務所 日本語名称 ( )

所在地: 未定(隊員履先参照の上、高地選定) 主要都市からの距離 ( ) キロ

3. 事業規模及び内容: 州 DID は 左に本局の監督下にある、2 州内の農業構造改善に關する諸プロジェクトの計画立案、調査、施工監督、および既存水利設備の管理維持に係る業務を司る。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位:

DID 州事務所へ配属され 所長を補佐する。

2. 業務内容:

イ) 小規模灌漑プロジェクトの調査 計画立案

ロ) 建設施工監督

ハ) 水利施設の維持・管理

ニ) 入力用資料の作成

等が 隊員に課せられる業務であり、隊員の経験・能力により、2 担当業務の具体的な内容が決める。

3. 現地で使用できる機材:

測量器具等一応完備。

4. 使用可能な言語:

マレー語履習が望ましい。但し技術者間には英語が多用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

中5次 5 年計画関連事業及び中4次計画のためのプロジェクト策定等に必要の要員として DID 技術者の不足を補う。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 農業土木専攻 実務経験 2年以上

(Engineer という資格が必要のため大卒が望ましい)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 22日

120 農 業 土 木

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Agri Civil Engineer	(男) 3人	訓練開始 56年 2月
	(日本語) 農業土木	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57年 10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Development  
(日本語): 地方開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Panchayat Development Training Center 日本語名称 (パンチャヤット開発訓練センター)  
所在地: Jhapa, Janakpur, Pokhara, Nepalganj 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 地方農村開発のため設置された訓練教育機関である。  
ネパールにおける農村指導者の為の短大と称する。

ニ. 設備概要: 教室, 訓練生宿舎, 資料室, 作業室, 圃場, 農業土木用器具

(2) 隊員の業務内容:

- ①業務上の地位: 農業土木コースの Instructor (教官) とする
- ②指揮の範囲: 約6ヶ月の農業土木コースで 40~50人位の訓練生を対象に。
- ③業務の形態: 測量 小規模灌漑 (村道, 暗渠) について指導する。教室内と実習 (野外) の両方。

④カウンターパート: Overseer コースの者がカウンターパートとして配置される予定。  
対象者: 訓練生は20以上の S.L.C. (10年教育修了者=高卒程度) 資格取得者であるが、一般的に数学の知識は低い。

⑤利用できる機材: 土木関係者具一揃い。実習時の不足分は地元の L.D.D プロジェクトで借用できる。

⑥外国人の配置: ネパールのパンチャヤット訓練センターには JOCV 木島隊員が配属されている。

⑦使用言語: ネパール語 (専ら用語は英語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパールの地方 (農村) 開発のために、各地域で、農業土木技術者の養成が急がれている。JOCV 隊員は過去にジャポール, ポカラ, ネパールガンジで農業土木コースを担当し、その評価は高いものがある。今回は、全国的に各訓練センターへ JOCV 隊員が派遣されることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 (農業土木専攻) 測量士補。

<新規要請>

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 21 日

120 農業土木

調査者氏名 江畑 義一 (印)

Table with 4 columns: 受入希望国名 (Japan), 受入希望業種 (Agricultural Engineering / 農業土木), 受入希望人数 (1 man), 派遣予定 (Start and end dates).

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE

(日本語): 総務庁

2. 隊員勤務先名称: Regional Agriculture Development office, 州農業課 (ムツサ州 農業課)

所在地: ムツサ州内

主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: ムツサ州内農業課の管内に約 1000ha の農業改良を実施... 農機具の整備と畜舎の建設... 設備概要: 農業課の管内(約 100km)の事務所には現地人技術者 6 人、トラクタ 15 台、JOCV の軽トラック 1 台、...

(2) 隊員の業務内容: 州農業課には JOCV 隊員 5 人配置され、そのうち 2 人、...

- 1. 業務の地域: ムツサ州内 農業課 農業土木技師
2. 技術の範囲: センゲル川 10 キロ以内の計画の建設(建設完了後の管理運営)と他の隊員(土壌肥料)とともに行う。現場の地形図、建設の設計は終了して、施工には主に用排水路と用水路は 27x17x1.2m のコンクリートで、排水路は素掘り、農道も約 1.5m の未舗装路を予定している。180 の新植地の近に 100 のアパメントの家と燃料用機材倉庫の建設を予定しているが設計はまだできていない。木材にしても JOCV 隊員が全てを調達するに必要だと現地関係者に要求される。
3. 業務の形態: 設計はムツサ州内にあり、現場(ムツサ州内 50 から 50km)での施工で、その間に村人と交渉、機具の運搬管理等の業務もある。その生活も余裕がある。
4. 村長との関係: 農業課長の 100% の幹事技師 1 名、JOCV 技師 1 名の配置されているが、技術力は相対的に、ムツサ州内には計画そのものが建設は不可能。
5. 現地に利用する機材: JOCV の軽トラック 1 台、測量機具、関係図、計器、設計に用いては自備。その他、トラクタの確保が問題である。大地で使用するトラクタを関係者の費用で使われる。
6. 現地の人: 州農業課にはベトナム人の FAO 専門員が 1 人、関係は余りない。
7. 使用する言語: スパヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 10 年計画は 1974 年 10 月にムツサ州の人々によって始まり、その結果として、...

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
・ 専ら農業土木の農業土木専門家(測量、土壌肥料、排水路、用水路、排水路の設計、)

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 13 日

## 121 農業機械

調査者氏名 谷川 孝志

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (マラ州)	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

### (1) 配属先

- 配属先名称 (現地公用語): *Korporasi Pembangunan Desa (Rural Development Corporation)*  
(日本語): *地方開発公社*
- 隊員勤務先名称: *K. P. D (Kota Marudu 配属先)* 語名称 ( *地方開発公社* )  
所在地: *Block D, Lot 14, Sedco Complex, KK* 主要都市からの距離 ( *KK* より / キロ )
- 事業規模及び内容: 日本で言う地方開発的の体もあって有るは属マラ州首席大臣直属の公社組織。元来は地方の開発 ( 農業 ... ) により、( 野村 ) 等の 20 年程組織。現在マラ各地、約 60 のプロジェクトを実施している。
- 設備概要: 設立以来 3 年がたつた現在各種設備を準備中である充分である。作物の冷蔵、ハイトラクター、農機具等の設備がある。

### (2) 隊員の業務内容:

- 業務上の地位 ... 農業機械 Supervisor ( 農業機械、トラクター、エンジン等のメンテナンス、修理、故障の指示等を行う )
- 技術の範囲 } ... ( a ) 初級技術スタッフの監督及び指導 ( b ) 整備係及び運転者の業務への指導
- 業務の形態 } ... 助言、指導 ( c ) 農業機械の修理、管理、監視に於いての監督及び指導。  
ハイトラクター及び乗用トラクターのメンテナンス及び操作業務に於いては、各地区のプロジェクト、及び同指導。
- ④ 運転の助手 ... 特に準備された車両、各地区のプロジェクトに配属されたエンジン等のスタッフ ( 同職種、同職種先、従事している企業はエンジン等のメンテナンスの業務に携わっている )
- ⑤ 機械 ... トラクター、乗用トラクター、ハイトラクター、エンジン ( 詳細は日報 )
- ⑥ 外国人 ... マラカボランティヤ
- ⑦ 使用言語 ... マレー語と英語 ( 訓練はマレー語と英語は自習で済む )

### (3) 受入希望の背景と受入国の期待:

KPD は設立されて以来 3 年がたつた歴史も浅く、農業機械及び中級技術者の人材が不足している。現在約 60 の開発プロジェクトを継続中であり、1 年に 60 の新しいプロジェクトを計画している。地域の開発プロジェクトに農業機械を以て技術及び農業開発のプロジェクトを助言しながら実際の指導を行うべく、優れた実務経験のある技術者の受け入れを期待している。

### (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 農業機械関係。学業を終了した資格を得た人で実務経験のある人。又は同等の能力のある人
- 可能な場合は自動車整備士 3 級程度の取得者が必要。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 17 日

121 農業機械

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 5 人	訓練開始 1981年10-12月
	(日本語) 121 農業機械	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1982年2-4月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)  
(日本語): 農林省農業管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute 日本語名称 (農業普及員養成所)  
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業普及員を養成する政府機関。現在全国12カ所が完成してあり、内4カ所に隊員が配属されている。

ニ. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、トラクター等整備されている。

(2) 隊員の業務内容: 現在は2年制(ゆく3年制移行予定)の農業普及員養成所で農学I, II, 農業機械等8教科あり。隊員は農業機械を担当し、実習指導にあたる。

1. 隊員の業務上の地位: 校長直属の教官

2. 技術の範囲: 耕耘機、浅井中ポンプ等の修理実習、トラクター運営の他、講義、農具改良等。測量も入るの2平板測量技術があればなおよい。

3. 業務の形態: 圃場、ワークショップでの実習指導を主とし、教室での講義もある。

4. 対象者およびカテゴリー: 生徒は18~20才で実務経験はない。カテゴリーは大半、大卒で30~40才で理論には強いが、実務はない。

5. 現地で利用できる機械: 上記設備

6. 取場におけるオラ国人数: JALV隊員野菜、農業機械が他AETIに113

7. 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語。校長、教官等は英語と必要とする。

8. その他: 当国に農業機械の専門課程がなく、教官の知識は乏しく、農業局長の言によれば農業機械だけは全AETIに欲しいとのことであった。一般に農家では農業機械といえば浅井中ポンプであり、かなり普及しているため予防整備等が普及員の知識として必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和48年以来5代に渡り24カ所に配置されていたが、第2次5か年計画の新設により、各AETIに配置し欲しい旨の要請となったところである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 4 月 22 日

121 農業機械

調査者氏名 深津和哉 (54)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語)	(男) 32人	訓練開始 54年 12月
	mechanic	(女) 人	派遣予定 55年 4月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと
	農業機械		

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): General Organization for Cattle  
(日本語): 酪農公社
- ロ. 隊員勤務先名称: Jurin Station      日本語名称 ( ジュリン 牧場 )  
所在地: Jurin Hama      主要都市からの距離 (Hamatari 110キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 乳牛約600頭 付帯の飼料作物育成圃場約400ha  
及びその運営管理に要する諸機械・機材を有する。

ニ. 設備概要: 機械部門に限定すると特定のガレージ・ワークショップを有しないが今有建設の見込み。工具等の保有状況は日常整備に差支えないものの十分とは云えない。

**(2) 隊員の業務内容:**

(酪農関係)

業務内容はトラクターを含む圃場用機械、ミルクプラント、2基の発電機を中心とするステーション内電気系統を中心に各種車輛の保守管理。

① 現場に於ける事実上の業務推進者。

② ミルキング、圃場作業に大幅な支障を来さない程度に諸機械を保守修理管理しうる技術。牧場にはステーション製のアルミラベル、四独製のウエストリブのミルクプラントが入っている。

③ 職長と協議の上、メカニクスと協同して単独で業務に当る。  
就業時間 原則として 8:00 ~ 15:00 であるが 緊急時にあつては夜間・早朝・休日 (金曜祝祭日) の就業もある。

④ 中卒、20~45才で、事に当っては一応何らかの形で処理する能力があるもの。科学的思考法に欠けることはない。

⑤ 一部部品を除き大型機械工具に至るまで大半は入手可能。

⑥ 機械部門に於ては無し。

⑦ アラビア語 (シリア方言)

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

隊員の存在が何らかの形でプラスに作用し得るという認識に基づき、隊員派遣の継続乃至拡充への牧場側の期待が感じられる。(牧場側より)

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- (本人にとって)
- 特記すべき条件は無いが下記の三条件を満足するならば業務遂行上有益と思われ。
- ① 職場での社会的地位をまぎらして確立するには必要に於て 大卒、20歳以上30歳以下
  - ② 業務内容を考慮すれば自動車整備工 2, 3級のレベルが必要とされる場合がある。資格があれば有利である。④ 大型機 酪農経営の一帯機械作業体系において 2年程度の経験は有益と考えられる。27

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 10日

121 農業機械

調査者氏名 江畑 義徳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	AGRICULTURAL MACHINERY	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 農業機械	(どちらでも可) 人	受入期限 57年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE  
(日本語): 総理府

ロ. 隊員勤務先名称: KIBAHYA EDUCATION CENTRE 日本語名称 (キバハ教育センター)  
所在地: KIBAHYA (P.O. Box 00054, KIBAHYA) 主要都市からの距離 (ダレスより) 40キロ

ハ. 事業規模及び内容: キバハ教育センターは学校群、農場、病院、集会所の部内0.5校、キャンパスを含む12000エーカーに各種果樹類、野菜を栽培し、地域の大組織となっている。ホールのあり、園内各所の建物をこの中心に運営されている。

ニ. 設備概要: 農業機械部内だけを記すと、家禽農場、酪農場にはトラクター、カッターマシン、12キロー、ポンプ、レーゾー、カッター、メンカレ、ジーンで修理を行なう。工具類は大量揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位... 赴任後決定

② 技術の範囲... 各種農科用農具、Rの養鶏技術、ジェネレーターの維持管理

トラクターはフード製7台、カッターマシン5台、ジェネレーター1台等

③ 業務の形態... 各種農業機械のメンテナンスの日常的業務になるが、カウチングに付しては技術指導を行なう。

④ 対象者のカウチング... メカニックは先生(Folk Development College)を合め8人いるが、これはF.D.C卒業生、4人は終業者である。技術レベルは低い。

⑤ 現地で利用する材料... 簡易な工具類は揃っている。

⑥ 職場に於ける外国人... なし

⑦ 使用する言語... スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規派遣要請

・各地で活躍している隊員の評価が高い。これは当国の農業機械専門家の人材が少なかったため、今回の要請になった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ・高卒以上
- ・実務経験 2~3年以上 (テラセウ、カウチングの整備士であれば尚可)
- ・農業一般についてある程度の知識をもち、これは好都合

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 56 年 3 月 20 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Agricultural Mechanics Instructor	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	(日本語) 農業機械教官	(女) 1 人	派遣予定 57 年 2 月
		(どちらでも可) 1 人	受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先  
MINISTRY OF EDUCATION AND CULTURE  
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Technical Education & Vocational Training  
(日本語): 文部省、技術教育職業訓練局  
2. 隊員勤務先名称: KABWE TRADE TRAINING INSTITUTE 日本語名称 (カバワ高等職業訓練校)  
所在地: P.O. BOX 80430 KABWE 主要都市からの距離 (市内より 10 キロ)  
3. 事業規模及び内容: 学生の入学資格は高校 3 年 (FORM IV) 卒業試験に合格したもので、  
学生数 400 名で、1 クラス約生徒数 10-15 名、在学中 4 エースあり、修学年数は 2 年から 3  
年、1 日 9 時間、速記科は 5 月、教員 40 名 (男子 30 名、女子 10 名、シビヤ人各 1 名) 当校  
は独立以前、1950 年に工業学校として設立され、当初は木造校舎にてあり、1971 年にカ  
バワ政府援助により現在に至っている。ニ。設備概要: 指導に必要な程度の機器等

(2) 隊員の業務内容: 1. はたさしているが、設備全般の管理の思い、破損が目立つ。

- 1. 業務上の隊員の地位: 農業機械科の専任教官
- 2. 技術の範囲: 農業機械の理論に精通していること、および、実技指導にまかせる  
べいであるので、実際の経験が豊富なことが必須条件となる。  
(学科と実習の比率 1:3)
- 3. 業務上の形態: 冊子時間程度の授業を担当。1 時間 45 分。  
(学科 2 時間、実習 2 時間) 他に課外活動。
- 4. 訓練生: カバワスキル FORM IV 卒業試験合格者。  
(高校 3 年卒業後)
- 5. 利用する教材: 実習の教員には必要最低限の教材は備わっているが、  
破損が目立つ。
- 6. 語学: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
ザンビアは、シアンガの時代、中間技術者の育成は急務であり、特に教育分  
野への援助を必要としている。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 短大、専修以上 5 年教員経験者希望あり。
  - ② 実務経験 3 年以上
  - ③ 単身赴任
  - ④ 英語必須



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年 4月 18日

125 農業機械

調査者氏名 神野 正徳

受入希望別名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
かーナ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	<del>Construction Machinery</del>	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 農業機械	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	<del>建設機械</del>		

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): National Vocational Training Institute  
 (日本語): 国立職業訓練所

2. 隊員勤務先名称: 同上  
 所在地: ACCRA 主要都市からの距離 (より =)

3. 事業規模及び内容: 工作機械, 木工電気, 建築, 検査, 建設機械, 各2-3名後援12名指導員数3-4名 生徒はかーナ企業に属し4年間にわたって1年ご当り(1年6ヶ月, 2年6ヶ月, 3年6ヶ月)間研修を受ける。5名建設機械or建設機械指導員

4. 設備概要: 溶接加工切断設備, ボルト盤, プレス機, 力カヤリ等加工設備, 100V, 200V, 220V, 380V, 440V, 500V, 600V, 700V, 800V, 900V, 1000V, 1100V, 1200V, 1300V, 1400V, 1500V, 1600V, 1700V, 1800V, 1900V, 2000V, 2100V, 2200V, 2300V, 2400V, 2500V, 2600V, 2700V, 2800V, 2900V, 3000V, 3100V, 3200V, 3300V, 3400V, 3500V, 3600V, 3700V, 3800V, 3900V, 4000V, 4100V, 4200V, 4300V, 4400V, 4500V, 4600V, 4700V, 4800V, 4900V, 5000V, 5100V, 5200V, 5300V, 5400V, 5500V, 5600V, 5700V, 5800V, 5900V, 6000V, 6100V, 6200V, 6300V, 6400V, 6500V, 6600V, 6700V, 6800V, 6900V, 7000V, 7100V, 7200V, 7300V, 7400V, 7500V, 7600V, 7700V, 7800V, 7900V, 8000V, 8100V, 8200V, 8300V, 8400V, 8500V, 8600V, 8700V, 8800V, 8900V, 9000V, 9100V, 9200V, 9300V, 9400V, 9500V, 9600V, 9700V, 9800V, 9900V, 10000V

**(2) 隊員の業務内容:** (トランク中心)

職業訓練所の建設機械の理論と物理保守実務指導を行う。現地教育(製作機)と並行指導。建設機械を深く深く知り(135)関連分野を深く深く知り(135)建設機械の限定知識を深く深く知り(135)自前整備の知識だけでも充分活用する。

① 職業・業務上の地位: (トランク) / 1名指導員

② 技術・範囲: 建設機械, 自動車, 指導教授と実習

③ 業務形態: 同上に2-3日朝から集中的に授業を行う。その他は自主的自習時間がある。午前中講義午後実習の形になる。

④ 生徒の技術水準: 中等程度 入所時は専門知識は少ない。入所時年齢16-20歳の。レベルの技術水準: 高等程度 自前整備の知識経験が別添書(別添書)の通り

⑤ 現地で利用可能な職種:

職業訓練士のための設備は整っている

⑥ 職場に於ける日本人及び日本専門家との状況

なし

⑦ 使用言語

英語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

かーナに於ける建設機械の技術者不足であり、その技術者の養成が急務である。 (トランク中心の整備)

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

高卒以上 ○英語4級以上 実務経験1年以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 2 日

131 家畜飼育

調査者氏名 新保 昭三 *Shinko*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	<i>Animal Husbandry</i>	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
家畜飼育			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *Office of Governor, Davao Oriental*  
 (日本語): *ダバオ、オリエンタル州 知事室*
- ロ. 隊員勤務先名称: *Office of Governor* 日本語名称 ( *知事室* )  
 所在地: *Mati, Davao Oriental* 主要都市からの距離 (*Davao*より170キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: *San-Isidro* 町に於いて *Pilot Project* として  
 ヤシ林の中に既に800頭の肥育牛が放牧されている。  
 これを2~3年後には3000頭とし、地地域への拡大の予定。
- ニ. 設備概要: *別に見ればそのほかない。*

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 隊員の業務上の地位: *知事室の技術 staff*
- ② 技術の範囲: *飼育、管理が主とする仕事であるが、人工授精、  
病気に対する知識が求められる。*
- ③ 業務の形態: *技術指導員として Pilot Project を見ると同時に  
に帯流のある地域に赴いて家畜飼育の技術  
指導を行う。*
- ④ 対象者及びカウチング・ポートの技術水準、年齢及び年齢:  
*農民を対象とするものであるが、カウチング・ポートは  
大半である。*
- ⑤ 現地の利用すべき機械: *別になし*
- ⑥ 使用する言語: *英語、セバノ語*

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

*新規要請*

*Davao Oriental* 州には既に農業隊員が入り、その実績がある  
ことから、新しく始める肥育(牛)は是非協力の隊員への協力を  
お願いしている。特に同州の農業開発振興に力を入れ、より牛の肥育を  
一環としている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

*大卒後2~3年の経験があること、英語力、人工授精師資格、  
獣医師の資格。*

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

131 家畜飼育

記入昭和56年4月2日

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Animal Husbandry	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Provincial Development Staff, Bulacan  
(日本語): プロビカン 南セロ

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )  
所在地: PDS, Malolos, Bulacan 主要都市からの距離 (23より45キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

市内の事業を企画したり、調整したりして、PDS自体は技術者を  
用いて、技術的な協力組織はBAI (南セロ) とする。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 市内の技術スタッフ (南セロ)

② 技術の範囲: 豚、鶏の飼育が業務の中心になるが、当然人工  
授精、病気に対する予防が必要になる。

③ 業務の形態: 技術指導員として、市内の farm を巡回指導して  
実務に立ち、町内を巡回し、バックヤードプロジェクト  
に対する技術指導を行う。

④ 対象者及びターゲット: 対象者は農民であり、ターゲットは  
市内の技術者である(大半)。

⑤ 現地で利用できる機械: 特になし。

⑥ 使用可能な言語: 英語、タガログ語。

※ 添付資料: 南セロのプロジェクトに関する家畜飼育表。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

新規申請  
Bulacan 市内は養豚、養鶏が、最も盛んなところであるが、  
新しい技術を導入し、畜産開発振興を促進しようとするものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大卒
2. 人工授精師の資格保有者 (経験可)
3. 2~3年の経験のある人。